

オーデコートGエコ

■特 長

- 1.揮発性有機化合物量(VOC)が非常に少なく、室内環境に配慮した水性塗料です。
- 2.水性つや有り塗料特有の仕上がり後の粘着感が気になりません。
- 3.藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。
- 4.防火材料認定を取得しています。

JIS K 5660

つや有合成樹脂
エマルジョンペイント

つ や 有 り

JIS K 5663 1種

合 成 樹 脂
エマルジョンペイント5分つや有り
3分つや有り
つ や 消 し

防火材料認定番号

品目名

NM-8585

塗料塗装/不燃材料

QM-9816

塗料塗装/準不燃材料

RM-9364

塗料塗装/難燃材料

■用 途

一般住宅、学校、幼稚園、託児所、介護施設、病院、ホテル、オフィス、レストラン、食品工場などの建物内部のコンクリート・モルタル・ボード類や鉄部、木部など

本商品には当社工場にて製造もしくは調色したJIS表示品と、店頭にて調色していただく為のJIS非表示品があります。
JIS表示が必要な場合はご注文時にその旨をご指示ください。

■基本性能

つや有りは JIS K 5660、つや有合成樹脂エマルジョンペイントの規格に合格しています。
つや調整品は JIS K 5663 1種、合成樹脂エマルジョンペイントの規格に合格しています。

試験項目	規 格	5分つや有り/3分つや消し/つや消し	つや有り
		JIS K 5663 1種	JIS K 5660
		試験結果	
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする	合格	合格
塗装作業性	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障があってはならない	合格	合格
低温安定性(−5℃)	変質しないものとする	合格	合格
表面乾燥性	常温乾燥2時間以内で表面乾燥する(23℃、50%)	合格	合格
	低温乾燥 4時間以内で表面乾燥する(5℃)	合格	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格	合格
隠ぺい率%	93以上	合格	—
(白および淡彩)	95以上	—	合格
鏡面光沢度(60℃)	70以上	—	80
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする	合格	—
	96時間浸したとき、光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないものとする	—	合格
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする	合格	—
	7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がないものとする	—	合格
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする	合格	—
	1000回の洗浄に耐えるものとする	—	合格
耐湿潤冷熱繰返し性	光沢保持率が80%以上で、湿潤冷熱繰返しに耐えるものとする	—	合格
促進耐候性	白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格	—
	480時間の試験で光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1以下で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	—	合格
屋外暴露	12か月間の試験で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格	—
耐候性	12か月間の試験で、白亜化の等級は2以下で、割れ、はがれ、膨れおよび穴がなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	—	合格

■塗料性状・荷姿

塗料名	色 相	つ や ※	容 量	希釈剤	希釈率(%)	使用量(kg/m ² /回)	塗装方法
オーデコートGエコ	各色※1	つや有り、7分つや有り※2 5分つや有り、3分つや有り つや消し	15kg 4kg	水道水	0~10	0.13~0.15	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※1 つや消しは淡彩色のみ。※2 7分つや有りも調色可能ですが、JIS品ではありません。



NIPPON PAINT

■ 標準塗装仕様

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥 時間 (23℃)	希 釈 剤	希釈率 (%)	塗装方法
-----	-------	------	-------------------------------	--------------------	-------	---------	------

■ コンクリート・モルタル

下 地 調 整	被塗面のごみ、ほこりを除き、清浄な下地とする。						
下 塗 り	水性カチオンシーラー (ホワイト・透明)	1	0.10～0.16	4時間以上	水 道 水	ホワイト:0～10 透明:無希釈	はけ、ウールローラー
			0.12～0.16				エアレススプレー
上 塗 り	オーデコートGエコ	2	0.13～0.15※ ¹	4時間以上	水 道 水	0～10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

■ 鉄 部

※2 溶剤系さび止めを使用する場合より、入念な下地処理を行ってください。下地処理が不十分な場合や薄膜で塗装すると早期にさびが発生することがあります。

下 地 調 整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤーブラシ、ケレン棒、電動工具などで除去する。 油脂分、水分は溶剤拭きを行い清浄な面とする。						
下 塗 り	水性ハイボンプライマー※ ²	1	0.13～0.16	4時間以上 7日以内	水 道 水	0～5	はけ、ウールローラー
上 塗 り	オーデコートGエコ	2	0.13～0.15	4時間以上	水 道 水	0～10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※上記の数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(編み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。
※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されており、特別な環境が想定される施工現場、部位に塗装される場合は、事前に必ず当社までご相談いただきますようお願いします。
※1 塗料塗装/不燃 (準不燃・難燃) 材の施工仕様につきましては、「塗付け量」が基準となります。
「塗付け量」とは被塗面単位面積あたりの塗装材量 (希釈する前) の付着している質量のことであり、「使用量」とは意味が異なりますのでご注意ください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。
・「水性カチオンシーラー」の塗付け量は、0.00kg/m²/回です。
・「オーデコートGエコ」つや有りの塗付け量は、0.12kg/m²/回です。
・「オーデコートGエコ」つや調製品の塗付け量は、0.10kg/m²/回です。

■ コンクリート・モルタル用下塗り塗料

水性カチオンシーラー透明、水性カチオンシーラーホワイト、水性透明シーラー、
水性ホワイトシーラー、水性シミ止めシーラーⅡ

■ 鉄部用下塗り塗料 (さび止め)

水性ハイボンプライマー、ハイボンファインプライマーⅡ、
1液ハイボンファインデクロ、(使用するさび止め塗料の肌の違いにより、上塗り塗装後の
エスパーワンエース (外観・光沢感に若干の差異が生じる場合があります。)

■ 木部用下塗り塗料

水性ウッドベースⅡ、1液ファインウレタンU100木部用下塗

■ 施工上の注意事項 ●詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

1. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、やむを得ず塗装する場合は、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
2. 暑熱しやすい建材 (軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など) を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、暑熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
3. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
4. つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
5. つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
6. つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
7. つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
8. 過剰希釈すると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
9. 防藻・防かび・抗菌効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
10. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きで除去してください。
11. 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
12. 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
13. スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
14. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがあります。時間がともたけなくなります。
15. 動物はけは、はけが固まったリダマになりやすいため、できるだけナイロンはけをご使用ください。
16. JIS K 5663 1種 (主として屋外用) の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。
17. 繊維壁、耐火被覆用酸性アルシウム板、ロックウールなどの非常に弱い素材には塗装できません。
18. 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
19. 旧塗膜に発生した藻かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面とってください。付着障害をおこすおそれがあります。
20. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー (新)、ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。なお、使用量は濡れ感があるまでを目安とし、素地への吸込み箇所がある場合はその部分を増し塗りしてください。
21. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
22. やかに著しく付着している場合は、ウェスなどでやけに水拭きで除去し被塗面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥 (目安23℃、6時間) させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウェスなどで水拭きを行い、被塗面を十分乾燥させてから塗装してください。
23. タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。
24. 塩化ビニルクロスのはけ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスの接着力が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がることがありますので、クロスの合わせ部などはあらかじめ接着剤などで押さえおくことが安心です。
25. 素地表面のアルカリ度値pH1.0以下、表面含水率は10%以下 (ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下 (ケット科学社製HI5000シリーズ;コンクリートレンジで測定した場合) の条件で塗装してください。
26. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材 (ニッペ1材カチオンプライマー、ニッペ1材フラー※200) などで処理してください。(合成樹脂エマルジョン) での使用は避けてください。
27. 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りシーラーを塗装してください。
28. 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー (新)、ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
29. 塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、油脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。

30. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
31. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
32. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
33. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
34. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
35. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
36. ぬめりすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
37. 上塗りに冴たイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴た色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠ぺい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板等でご確認ください。
38. 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
39. 濃彩色や冴た原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所に使用する場合は、弱溶剤タイプのピュアライトUVプロテクトクリヤーシリーズ (MK/DF/Si) を上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶着や滲みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
40. 濃彩色を塗装する際には、つやむらが目立ちやすくなるおそれがありますので、事前に試し塗りをしてご確認の上、ご使用ください。
41. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
42. はけ塗り仕上げやローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面膜が異なるため若干の色相差がでするので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
43. ローラーの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上げり感が異なって見えることがあります。
44. 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
45. 汚れ、さすなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
46. 布クロス、紙クロスや汚染防止のクロス (シリコン加工された水をはかると著しくはくじクロス) には塗装できません。塩ビクロスで可塑剤移行が考えられる場合は水性シミ止めシーラーを塗装してください。
47. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するため、専用でご使用ください。
48. 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシーナーで洗浄してください。
49. 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴム (ベッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
50. 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、1/4工程や研磨工程が必要になる場合があります。
51. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて底底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
52. 開封後一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
53. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
54. 内容物 / 容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
55. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むが、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2026 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物

検索



カタログ
NP-E126
SS260912H
2026年9月現在